

# 東海経済レポート

## （2018 年 1 月）

### ～企業部門、家計部門ともに回復の動きを継続～

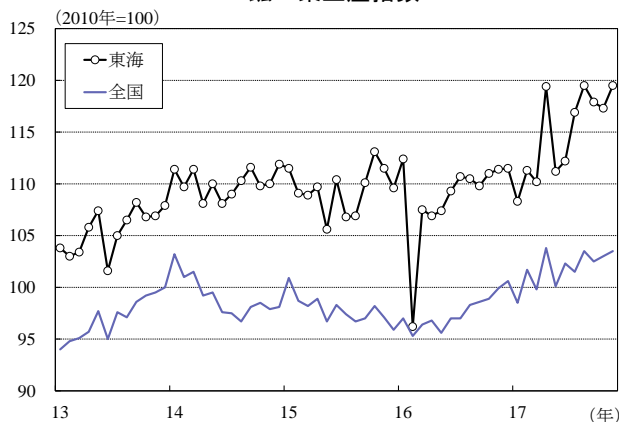
#### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は回復の動きを続けている。企業部門では、生産が良好な水準で推移しているうえ、輸出も増勢を維持。設備投資は先行指標となる工作機械の国内受注が増加基調。家計部門も、良好な雇用環境の下、個人消費が底堅く推移中。
  - ▶ 生産は、昨年 11 月の鉱工業生産指数が前月比+1.5%と 3 ヶ月ぶりに上昇。指数の水準もリーマン・ショック以降の最高水準域にあり、生産活動は総じて堅調。当地主力の輸送機械、電子部品・デバイスが揃って 2 ヶ月連続で上昇し、全体を牽引。
  - ▶ 設備投資は、大企業の昨年 7-9 月期の投資額が前年比▲0.6%と 2 四半期連続の減少。製造業は前年比プラスとなったものの、非製造業の同マイナスが全体を下押し。ただし、先行指標とされる金属工作機械の昨年 11 月の国内受注額は前年比+22.6%と 4 ヶ月連続のプラスとなった。
  - ▶ 輸出額（円ベース）は、昨年 12 月に前年比+9.0%と 11 ヶ月連続で増加。相手国別では、中国向けが 11 ヶ月連続で同 2 桁増となったほか、EU 向けも 6 ヶ月にわたり同 2 桁の伸びが継続、米国向けも 11 ヶ月連続プラスと好調を維持。品目別では、自動車部品が 17 ヶ月ぶりにマイナスとなったものの、一般機械、自動車、電気機器、工作機械など多くが増加。
  - ▶ 雇用は需給の引き締まった状況が継続。昨年 11 月の有効求人倍率は、三重県が 1.69 倍と 1991 年 6 月以来となる最高水準に上昇。また、愛知県は 1.86 倍とリーマン・ショック以降の最高水準、岐阜県も 1.81 倍とバブル崩壊後の最高水準域で、それぞれ推移中。
  - ▶ 個人消費は、昨年 11 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+0.6%と 2 ヶ月ぶりに増加。業態別では、百貨店とスーパーが前年比プラスとなった一方、コンビニエンスストアは店舗数減少もあって 2 ヶ月連続のマイナス。また、昨年 11 月の新車販売台数は同+0.2%と、2 ヶ月ぶりのプラスとなった。
  - ▶ 住宅着工は、昨年 11 月に年率換算で 10.3 万戸、前年比+11.1%と 2 ヶ月ぶりのプラス。持家が 5 ヶ月連続のマイナスとなったものの、分譲マンションの大幅増加が全体を押し上げた。

### 【生産①】

昨年 11 月の鉱工業生産指数は前月比+1.5%。リーマン・ショック以降の最高水準域に上昇。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

業種別では、当地主力の輸送機械、電子部品・デバイスが揃って2ヵ月連続で上昇し、全体を牽引。

業種別の鉱工業生産(東海)

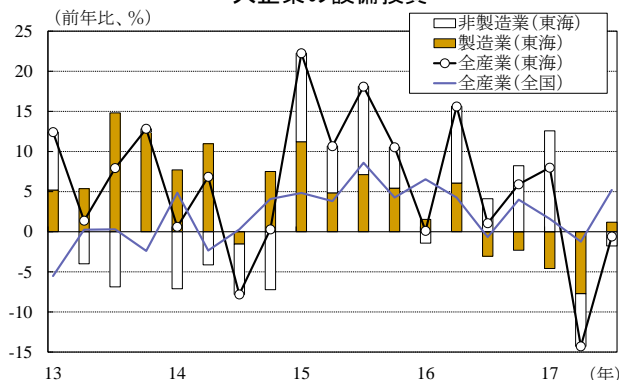


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)  
(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

昨年 7-9 月期の大企業の設備投資は前年比▲0.6%と、2 四半期連続のマイナス。

大企業の設備投資

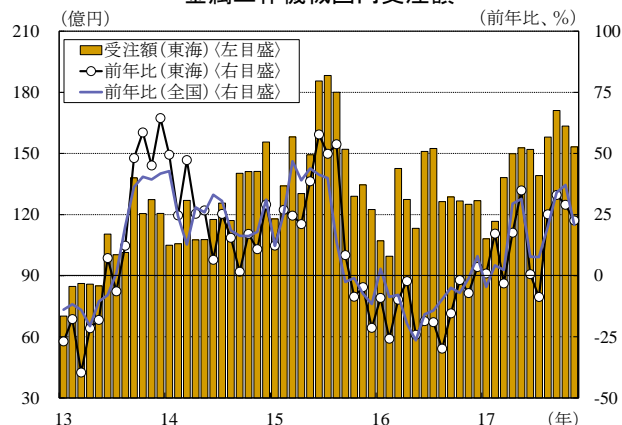


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は昨年 11 月に前年比+22.6%と、4ヵ月連続のプラス。

金属工作機械国内受注額

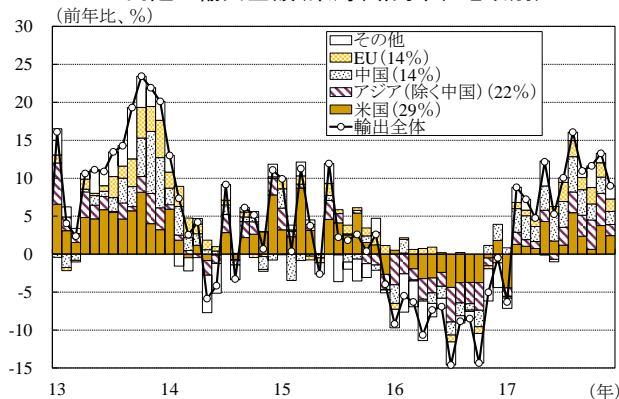


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

昨年 12 月の輸出額(円ベース)は前年比+9.0%と、11ヵ月連続増加。主要相手国向けが増勢を維持。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

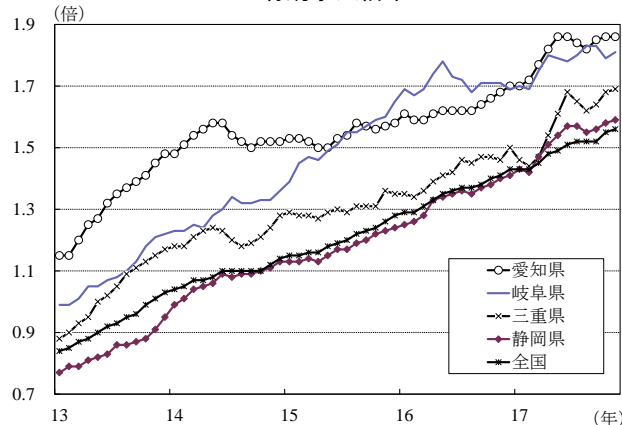


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.( )内の数値は2016年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

昨年 11 月の有効求人倍率は三重県がバブル後の最高水準を更新。愛知県、岐阜県も高水準で推移。

有効求人倍率

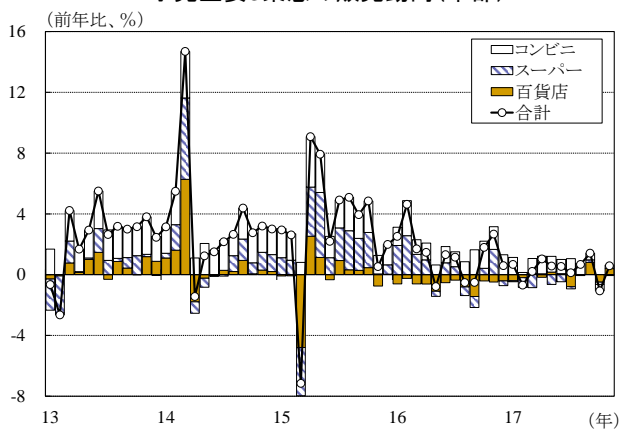


(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【個人消費】

昨年 11 月の小売主要 3 業態の販売は前年比+0.6%と 2 ヶ月ぶりに増加。コンビニが 2 ヶ月連続の減少。

小売主要3業態の販売動向(中部)

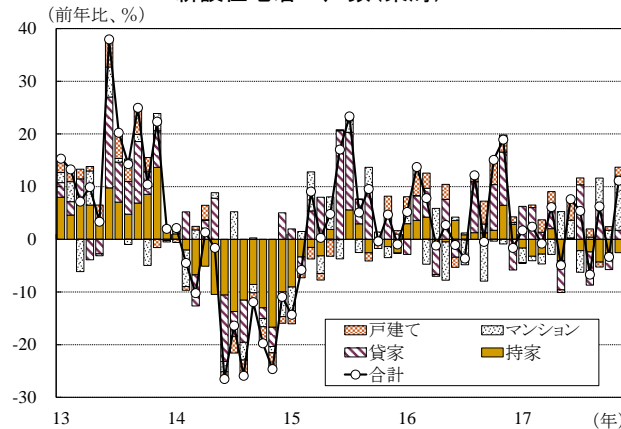


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【住宅投資】

昨年 11 月の住宅着工戸数は年率換算で 10.3 万戸、前年比+11.1%。マンションの増加が全体を牽引。

新設住宅着工戸数(東海)

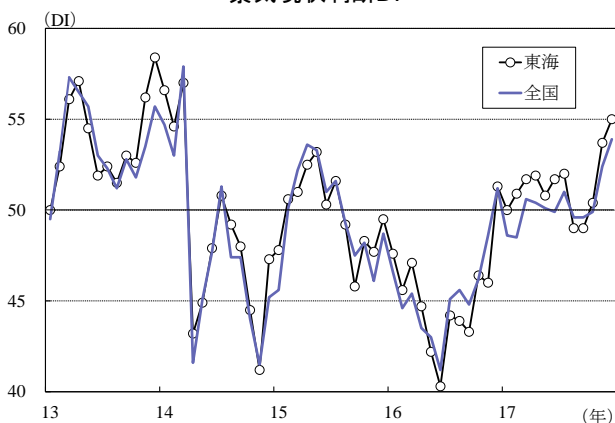


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省東海より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【景気ウォッチャー調査】

昨年 12 月の景気現状判断 DI は 55.0 と 3 ヶ月連続で上昇。3 ヶ月続けて全国を上回る水準を維持。

景気現状判断DI

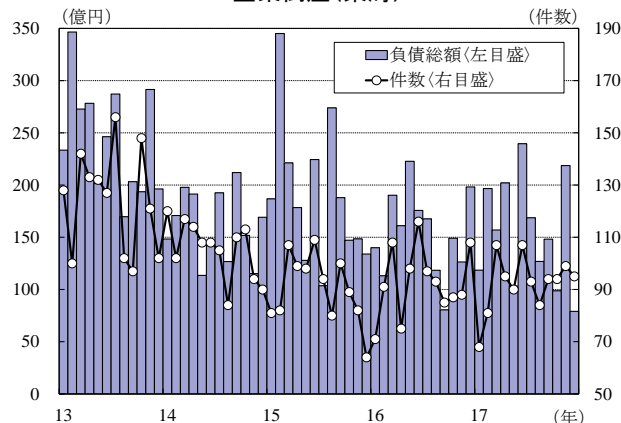


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【倒産件数】

昨年 12 月の企業倒産件数は 95 件で、前年比▲12.0%の減少。負債総額は同▲60.1%の減少。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【原油価格】

WTI 先物は地政学イベント、世界的な景気拡大に伴う需要増加観測等から、1 バレル 60 ドル台に上昇。

原油価格

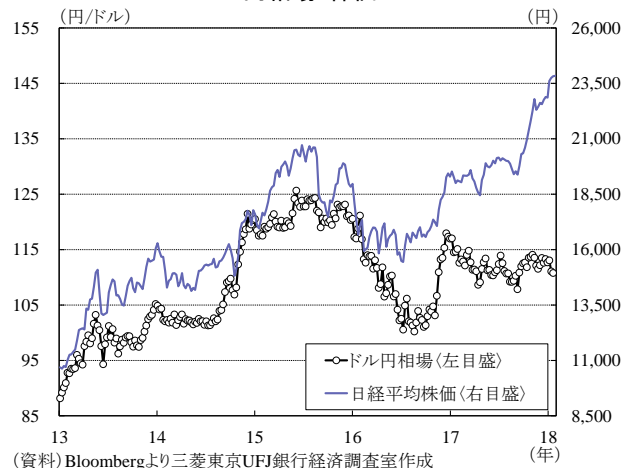


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【円相場・株価】

円相場は日銀の金融政策の正常化等が意識されて、円高方向。株価はバブル後の最高値を更新。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京UFJ銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。